

大人から子どもまで本気の雪合戦
雪合戦大会にボアーズが会場

広島県庄原市の高野スポーツ広場で開催された「第28回県雪合戦大会」に飯南町の少年野球チームワイルドボアーズの選手が出場しました。

本町と庄原市は自治体間交流に関する連携協定を締結していることから、交流の一環としてこの度の出場となりました。大会には51チームが出場。ワイルドボアーズはジュニア部門で勝利を目指しました。

出場したボアーズの選手からは「勝てなかったけど、楽しかったです」との声が聞かれました。



少年野球で培ったコントロールで相手を狙います

2.2
日

英語と料理にチャレンジ
英語とcooking

来島交流センターで、来島公民館主催の「英語でcooking」が開催されました。

今回の企画は、ALT(外国語指導助手)のランデンさんとダニエルさんが講師。8人の参加者は、2人の母国アメリカの定番料理のハンバーガーやアップルパイを作りました。料理中は英語で会話がルール。参加者は頑張って英語を話していました。

参加した小学生は「英語も料理も難しかったけど、楽しかったし料理もおいしかったです」と話していました。



作り方も英語で質問。難しい時は日本語で

2.1
土

地域の安全・安心を守る
飯南町消防出初式

赤名地区で「令和7年消防出初式」が挙行され、151人の消防団員が出動しました。

屋外行事では、町長への出動人員を報告し、通常点検を実施。その後、赤名地区住民の声援を受けながら、赤名連坦地を力強く行進しました。

赤名農村環境改善センターで行われた式典では、団長訓示、各種表彰等が行われ、最後には出席者全員で今後の飯南町や消防団の発展を祈念し、万歳三唱を行いました。



本部を先頭に、分団ごとに隊列を組み行進

1.12
日

無病息災を願って
民俗行事とろへい

頼原の張戸地区で民俗行事「とろへい」が行われました。

今回は、本町と友好交流都市協定を結ぶ長崎県大村市から19人が参加。頼原地区の参加者9人とともに、大きな声で「とろへい、とろへい」と言いながら、手作りのわら馬を家々に届けました。お供え物を持っていくとする子どもたちは、住人から水をかけられると歓声をあげました。

参加した大村市の小学生は「初めての体験で、水にぬれたけど楽しかったです」と笑顔で話していました。



水をかけられないように走って逃げる子どもも

1.11
土

- 令和6年度 家族で作る人権標語 優秀作品**
- ばくもなれるよ おたすけまん
●金賞 渡邊 悠菜 頼原小1年生/家族名 智昭
- 「それいいね」 みとめ合う声 重ねよう
●金賞 岡田 颯士 来島小5年生/家族名 絢子
- あいさつで げんきのたねを まきたいな
●銀賞 吉田 花 頼原小2年生/家族名 育枝
- みとめ合い あなたらしさに いいねボタン
●銀賞 日高 愛夢 頼原小5年生/家族名 純也・遥
- "ありがとう" どの言葉よりも すてきだな
●銀賞 福留 蛭 志々小5年生・柚 3年生・蓮 1年生/家族名 勇貴・美帆
- フレンドの 小さなサイン 見逃すな
●銀賞 石原 理子 赤名小6年生/家族名 朋美
- ゆっくりと きかせてほしい きみのこえ
●銅賞 藤原 唯人 頼原小2年生/家族名 咲人
- うれしいな きみにいいたい ありがとう
●銅賞 森 智陽 頼原小4年生/家族名 理恵
- ごみひろい みんながつくろう きれいなまち
●銅賞 中川 梓 志々小1年生/家族名 茂芳・祐紀子
- 差別なし 平和に創る 未来地図
●銅賞 倉橋 依未 赤名小6年生/家族名 直之
- 話し合い 違いを認め 多様性
●銅賞 橘高 隼 赤名小6年生/家族名 純子
- 「だいじょうぶ?」「どうしたの?」言える人になりたいな
●銅賞 安部 陽南 来島小2年生/家族名 朝陽・亜裕子

人権について考えるきっかけに
家族で作る人権標語

飯南町人権・同和教育推進協議会では、住民の人権意識の高揚を図るための教育・啓発活動の一環で、小学生とその家族を対象に「家族でつくる人権標語」を毎年募集しています。

今年度は108点の応募があり、1月24日に審査会が開催されました。

審査会では、特に優秀とされた12点を決定。今後、この12点を本広報誌に毎月1点ずつ掲載予定です。



頼原小1年生 渡邊悠菜さん



来島小5年生 岡田颯士さん

魅力ある地域づくりに向けて
小田真木自治振興協議会が知事表彰

小田真木自治振興協議会が「しまね流福祉のまちづくり活動団体」を受賞し、島根県知事から表彰されました。

同会は、サロン、防災研修会、地域交流やイベントなどを通して、地域の魅力やつながりづくりを行っています。これらの活動が評価され、地域福祉活動「自治会区福祉活動」に取り組み団体としての受賞となりました。

安部和昭会長は「この度の受賞を励みに、さらに前進したいと思います」と話していました。



県庁での表彰式に出席した安部会長(写真右)と同会の平石さん(写真左)

1.27
月

これまでのあゆみを振り返る
谷自治振興会設立20周年記念式

谷笑楽校で、谷自治振興会発足20周年の記念式典が行われました。

同会は、飯南町合併後いち早く設立され、他地区の先進事例として取組を進めてきました。式典では、永田一博会長が「あつという間の20年間だった。盛大にこの会を開けることをうれしく思います」と挨拶。この20年を振り返る映像が上映されると、これまでの取組や映し出された記録写真を懐かしむ参加者の様子が見られました。

最後に、赤名相撲甚句会による「相撲甚句」が披露され、今後の谷地区の発展と繁栄を祈念しました。



皆さんの大きな笑顔で式典は幕を閉じました

1.19
日